

藤友



2011

春号 No.378



取締役会長 高 藤 昌 和

「物」と「心」のバランス

戦前、戦後の物資の不足の時代に育った子供の頃、戦後あの圧倒的なアメリカの物質文化に出会った時、物さえあれば、お金さえあれば幸福になれると思ったのも、無理からぬことでした。以来必死で目に見える姿、形のある「物」を中心に価値を認め、そのために働いてきた様に思います。

「唯心所現」我々の心のあり方が現実をつくってきたのです。内なるもの「心」とか「精神」、「魂」という目に見えない内なるもの、本質的なものは無視してきました。経済至上主義、物質中心主義の考え方が、大きな「富」を得た反面、失ったものの大きさに気付きました。海や川や土壌、大気汚染、自然破壊、異常気象の大洪水や干ばつ、さらに大きな問題として、人の心に大きな傷あとを残すことになりました。

勿論、人々が幸福な生活を送るために物は必要ですし大切なものです。しかし、物心両面のバランスということが必要です。物質的な価値だけでなく内なる「心」や「精神」や「魂」という、肉眼では見えないものの価値に注目せねば本当の幸福は得られません。キリスト教の「愛」仏教の「慈悲」ということですが、愛は責任感と表裏一体です。愛があれば責任感が生じます。また慈悲は思いやりそのものであり、自分のことだけを考えるのではなくて、相手を思う気持ちが大切です。

自己中心、自分さえよければという社会を救うには、物と心のバランスを、愛と思いやりで人類の危機的な状況を再生することを願っています。



2011/2/22

第65期定時株主総会

第65期定時株主総会は2月22日午後3時よりタカフジ・アパートメント3階で開催されました。定刻高藤社長が議長を務め、開会の挨拶後、議事審議に入り、全議案、原案どおり承認、可決されました。

報告事項 第65期(自平成21年12月1日・至平成22年11月30日)
営業報告書、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書報告の件
決議事項 第1号議案 第65期剰余金処分案承認の件
第2号議案 取締役任期満了につき7名選任の件
第3号議案 退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件
以上を以て総会は滞りなく終了いたしました。

下記のとおり取締役及び監査役の選任がありそれぞれ就任いたしました
つきましては、役員一同真にお客様にご満足をいただき社会にお役にたちうる企業めざして一層の努力をいたす所存でございます。
何卒、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

記

取締役会長	高藤 昌和
代表取締役社長	高藤元太郎
常務取締役	高藤 國雄
常務取締役 (福岡支店長)	土佐 一彰
取締役 (大阪支店長)	鳥越 英文
取締役 (CS事業部・設備技術部担当)	奈須那 定
取締役 (管理部長)	萬田 恵一(新任)
監査役	長尾 寛人
執行役員 (購買部担当)	三野 紘一
執行役員 (大阪副支店長)	林 年数
執行役員 (建設部長)	吉浦 隆市(新任)



尚、高橋文弘は長らく御懇情を賜りましたがこのたび取締役を退任し、顧問に就任致しました。

2011/2/25

創立記念戸上神社参拝／記念式典・祝賀会

おかげさまで当社は平成23年2月25日、創立65周年(創業79年)を迎え、本社、各支店それぞれ記念の諸行事を催しました。

本社では午前8時、社長をはじめ役員、社員一同恒例の戸上神社参拝と65周年に伴い関係物故者法要を行い、創業以来、今日まで多くの方々のお陰と感謝し、改めて敬意を表しました。

同日17時から下関グランドホテルで開催しました式典では、例年の永年勤続者の表彰を行い、永年の労をねぎらい、祝賀会を実施しました。

社員一同、創立記念日を機に、この試練の時代に新たな決意をしました。



永年勤続表彰

40年表彰



災害、事故、病気等 一寸先は闇だ。その中で40年間無事に今日を迎えました。
闇に向かって、希望、気力、元気の光を取り戻そう。小さな光でもいい。明日の為に!

[ADD室 二階堂 茂]



無我夢中で走ってきた40年、建物の設計から現場まであらゆる部門に渡り経験させて頂き、自分自身の為に大変勉強になりました。今後共これらの経験を生かし業務に努めていこうと思います。

[CS事業部 野口 英之]



昭和46年入社、入社2年後には第1次オイルショック、建設現場には生コンクリートは届きません。袋セメントの割り当て分がはいる状態でした。さらに6年後第2次オイルショック、元号が平成に変わりバブルの発生、それから阪神淡路の大震災と40年間には戦争、革命、地震による出来事が多々ありました。今年も大変な年になりましたが、「必ず復興できる」という希望を持ち、活動したいと思います。今までこのような困難な時期を乗り越えて社員を励まし、家族を支えて頂きました会社、並びにOBの方々のご指導、地域社会の皆様の御尽力に感謝申し上げます。ありがとうございます。

[福岡支店 大谷 好郎]



40年間、無病息災であった事に感謝!! 又、これからも頑張ります。

[CS事業部 吉井 寛]



40年勤続表彰ありがとうございました。
本社勤務で1年、その後福岡支店勤務をしております。
お客様や諸先輩方の皆様、又、後輩や協力業者の方々に支えられて成長させていただきました。
建設業は大変厳しい状況ですが、当社発展の為、さらに精進し頑張っていきたいと思っています。

[福岡支店 小林 正弘]



「仕事は楽しく」と言う言葉をモットーに40年歩んできました。振り返ると楽しくもあり辛くもあった年月ですがここまでこれたのも皆様のおかげと感謝しています。
今後は一層心を引き締め仕事に精進して会社や社会に貢献できるよう努めたいと思います。

[建設部 丹羽 義忠]

30年表彰



大勢の方々に支えられて 30年間働くことができたことを嬉しく思うと同時に感謝の気持ちです。これからも当社の発展の為に微力ながら頑張りたいと思っています。

[CS事業部 田山 幸聖]



人生一生勉強です。まだまだこれから頑張ります。

[購買部 鶴田 鉄男]

永年勤続表彰

30年表彰



入社配属は建築課、営業職に変わり13年、お客様や諸先輩の皆様へ接して成長させていただきました。勤続30年目は東日本大震災の年となり、まなぬ世を堪え忍び、お陰さまに包まれて、明るく職務を貫きたいと思っています。

【福岡支店 秋吉 幸二】

20年表彰



入社して20年、すべての方へ感謝の気持ちを忘れず これからもしっかり走り続けて行きたいと思っています。

【大阪支店 古賀 忠司】



「社会人としての成人式(20歳)を迎える事が出来ました。これも偏に諸先輩方のご指導の賜物と感謝しております。バブル期に入社し、その後崩壊。大不況という荒波に揉まれながら厳しい時代も経験しました。この平成激動時代の経験を生かし、今後の業務に励んで行きたいと思っています

【福岡支店 湯下 憲二郎】



勤続20年を迎えた年に未曾有の大震災が発生。被災された方々のニュースをみて、人々の「絆」を改めて感じました。当社にお世話になり、諸先輩に感謝すると同時に皆様との「絆」をより一層深め、高藤建設の発展に寄与できるよう努力したいと思います。永年勤続表彰ありがとうございました。

【ADD室 豊島 和司】



平成3年に入社し、早や20年の月日が経ちました。諸先輩方、後輩に出会う事で、自分自身成長できたと思います。これからも、職場での仕事に励みながら、社員の一人とし、会社の発展に尽くしていきたいと思っています。

【福岡支店 今井 雅人】

5年表彰



早いもので、入社して5年が経ちました。勤続5年を迎えられたのも、みなさんのご指導のおかげだと感謝しています。これからも社会人として成長していけるよう、努力したいと思います。今後ともご指導よろしくお願い致します。

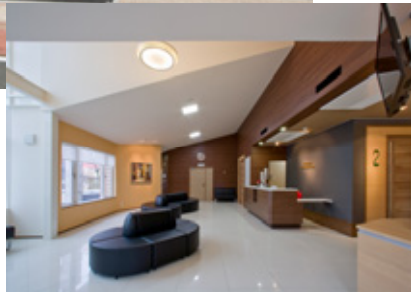
【管理部 井上 宏子】



5年表彰を頂く事が出来た事はもちろん、18歳で入社し成人を迎え、社会人としてここまで成長出来た事は、皆様からご指導を頂いたお蔭だと感謝しております。まだまだ未熟者ですが、高藤建設を通し沢山の事を経験しながら、日々成長をしていきたいと思っていますので、今後ともご指導よろしくお願い致します。

【管理部 栗原 京子】

平沼整形外科クリニック



- ▽ 発注者 平沼整形外科クリニック 様
- ▽ 設計監理 株式会社スズキ設計 様
- ▽ 工期 平成22年9月11日～平成23年3月15日
- ▽ 規模 鉄骨造 2階建 延床面積 397.23㎡
- ▽ 工事場所 北九州市

《完成して一言》

内部は木目を基調としたシックな部分と、白を基調とした落ちつきのある部分を使い分け、来院された方々が心安らぐ診療所になりました。

外観は柳町校区にマッチしたスタイリッシュな仕上がりになりました。

〔建設部 平湯〕

門司港運新浜倉庫



- ▽ 発注者 門司港運株式会社 様
- ▽ 設計監理 当社
- ▽ 工期 平成22年12月1日～平成23年3月31日
- ▽ 規模 鉄骨造 平屋建 延床面積 1569.31㎡
- ▽ 工事場所 北九州市

《完成して一言》

門司港レトロ地区の傍にある、昭和20年代後期に建てられた倉庫を解体し新築しました。

以前は三棟の木造倉庫で連なっていたのですが、一棟の大容量の倉庫に集約しています。

昭和を感じさせる倉庫群の中で周囲から一際目を引く建物です。

〔建設部 河崎〕

小倉南区役所駐車場



- ▽ 発注者 北九州市 様
- ▽ 設計監理 北九州市建築都市局建築部 様
- ▽ 工期 平成22年11月25日～平成23年3月31日
- ▽ 規模 鉄骨造 2層3段 延床面積 2600.34㎡
- ▽ 工事場所 北九州市

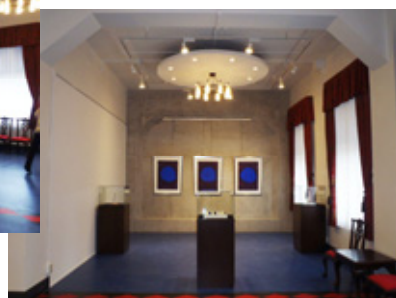
《完成して一言》

この建物は小倉南区役所と生涯学習センターの駐車場として建設しました。

駐車可能台数は138台です。白を基調としたデザインの駐車場が市街地に映え、市民にも喜ばれるスマートな立体駐車場が完成しました。

〔建設部 丹羽〕

関門海峡らいぶ館



- ▽ 発注者 社団法人 西部海難防止協会 様
- ▽ 設計監理 株式会社 洋建築計画事務所 様
- ▽ 工期 平成22年12月15日～平成23年3月15日
- ▽ 規模 鉄筋コンクリート造 5階建
- 床面積(1階改修部) 387.0㎡
- ▽ 工事場所 北九州市

《完成して一言》

昭和初期に建築された建物の改修工事の為、既存の天井・壁を生かした仕上に苦労しましたが、内外装とも門司港のレトロな雰囲気にあった海の展示室に仕上がったと思います。

〔建設部 佐々木〕

泉大津パーキング改修



- ▽ 発注者 阪神高速道路 株式会社 様
- ▽ 設計監理 阪神高速道路 株式会社 様
- ▽ 工期 平成21年12月29日～平成23年3月10日
- ▽ 規模 海側鉄骨造12階建のうち2階、3階、5階
陸側鉄骨造19階建のうち2階、3階、5階
床面積 海側 1,320.6㎡
陸側 1,219.12㎡
- ▽ 工事場所 大阪府泉大津市

《完成して一言》

先にオープンした海側に続き、今回は「カーニバル」をテーマにした陸側パーキングの改修工事です。海・陸側共照明が全てLEDとなっておりますが、中でも休憩スペースは7色のLEDを使い四季をイメージした演出を行なえるものとなっており、ドライブの合間に「ほっ」と出来る癒しの空間となっております。

〔大阪支店 杉〕

榎並診療所



- ▽ 発注者 O 様
- ▽ 設計監理 株式会社 総合企画設計 様
- ▽ 工期 平成23年1月20日～3月31日
- ▽ 規模 鉄骨造 平屋建 延床面積 138.48㎡
- ▽ 工事場所 大阪市

《完成して一言》

短い工期でしたが、施主様をはじめ近隣の皆様方のご理解とご協力を賜り、無事に無災害で竣工することができました。内観は暖かみを感じられる清潔感のある仕上がりとなっています。

〔大阪支店 宇佐見〕

ホームプラザナフコ南福岡店

▽ 発注者	株式会社ナフコ 様
▽ 設計監理	当社
▽ 工期	平成22年10月15日～平成23年3月17日
▽ 規模	鉄骨造 2階建 延床面積 3578.77㎡
▽ 工事場所	福岡市



《完成して一言》

工事期間中は、施主様をはじめ
近隣住民の皆様方のご理解と、
ご協力を賜り、無事故・無災害で
完了する事ができましたことを心
より厚くお礼申し上げます。

〔福岡支店 安井〕

2011/4/1

平成23年度入社式



4月1日、平成23年度の新入社員入社式を行いました。
社長より新入社員をむけて「失敗を恐れず何事にも果敢
にチャレンジして下さい」という旨のメッセージを頂き
ました。新入社員が本社社員の前で自己紹介を行い、社
内外の研修を経て建設部・設備技術部へ配属されまし
た。

〔管理部 栗原〕



新入社員 これからの抱負



今日から現場での研修が始まりました。現場では今まで見たことがないものが
多く不安ですが、分からないことをそのままにせず、すぐに聞いていろんな知識
を吸収できるように頑張ります。資格の取得にもどんどん挑戦していきたいと
思います。

〔小島拓実〕



社員として自覚を持ち言われて動くのではなく早く自分で気付き行動できるよ
うになり、先輩たちの足を引っ張らないようになろうと思います。

〔松崎広大〕



入社したばかりなので大きな不安はありますが一日一日を大事にして日々努力
し、一日でも早く仕事に慣れるように頑張ります。いろいろご迷惑をかける
と思いますがご指導よろしくお願いいたします。

〔川島祥吾〕

2011年度

ゼロ災害実現計画説明会／安全衛生研修会

ゼロ災害実現計画説明会(本社)

我が社の安全計画は4月1日から23年度がスタートします。

昨年までは、ゼロ災害実現計画説明会を門司体育館で行っていましたが、協力会・非協力会の業者の方も含めて本計画の浸透を深く図るために、本社管轄では工事現場での災害防止協議会で、各社の安全責任者に出席していただきゼロ災害実現のための説明会を行うことにしました。

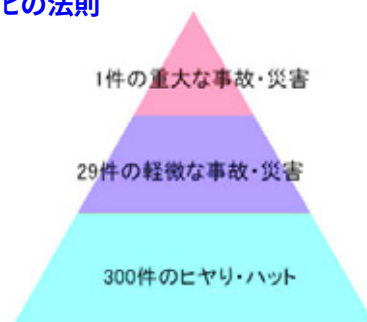
災害を防ぐには、安全施工サイクル活動・リスクアセスメントの一層の充実を行い「1:29:300」の300を無くすことです。
(ハインリッヒの法則)

"安全と思った場所でも再点検"をスローガンに現場で働かれる皆様とゼロ災害の達成を目指して、安全職場を築きたいと思います。 ご安全に！

[建設部 吉浦]



ハインリッヒの法則



一件の大きな事故・災害の裏には、29件の軽微な事故・災害、そして300件のヒヤリ・ハット(事故には至らなかったもののヒヤリとした、ハットとした事例)があるとされる重大災害の防止のためには、事故や災害の発生が予測されたヒヤリ・ハットの段階で対処していくことが必要である。(危険予知)

説明会実施現場及び実施日

①合馬クリニック現場	3/1	④ナフコ北九州第2物流センター現場	3/31
②小倉南区役所駐車場現場	3/3	⑤宮城内科胃腸科医院新築現場	4/2
③門司港運新浜倉庫現場	3/15	⑥飼料サイロ現場	4/4

今後も新規現場にて説明を実施

支店での説明会・研修会

大阪支店は3月25日(金)15時より、平成23年度ゼロ災害実現のための安全衛生研修会を支店4階会議室にて開催しました。今回は大阪府労災センターのご協力により、「労災保険・特別加入制度」について説明していただき、事故発生後の企業の対応や補償の対象となる範囲など改めて認識させられました。最後に出席者全員で「安全衛生に関するQ&A」テストと解答、リスクアセスメントのビデオ観賞をし「今年1年の無災害」を誓いシュプレヒコールで閉会しました。これからも協力業者と共に、安全意識をより一層高め無災害記録を伸ばしていこうと思いました。

[大阪支店 森田]



福岡支店では、3月30日(水)に支店会議室で平成23年度安全衛生研修会を協力会社29社、社員合わせて36名が参加し開催いたしました。今回は、直接現場に携わっている安全衛生責任者又は、職長を各社に直接指名して参加していただき、「健康と安全と」の資料を基にゼロ災害実現計画書の説明と平行して、現場での問題点・要望事項を交えて研修を致しました。

福岡支店は3月29日現在で2904日無災害を継続中です。

本日の研修を契機にして、協力業者の皆様と一体になって無事故・無災害の継続を進めていきます。 ご安全に

[福岡支店 小林]



地震のメカニズム

3月11日午後2時46分に三陸沖を震源とする強い地震があり各地で甚大な被害が発生しています。被害状況は、日を追うごとにひどい現状が報じられておりますが被災者の方々へお見舞い申し上げますと共に、多くの犠牲者の方のご冥福を祈り、心よりお悔やみ申し上げます。

この度は、地震災害もさることながら、津波による被害が多大了。その脅威は、災害に強いといわれる鉄骨、鉄筋コンクリート造の建物まで崩壊させました。防災面では高い基準の建物まで丸裸にしており、4階建の高さまで津波が来たと聞きます。そこで今回は次号と2回に分け地震と津波のメカニズムについて少しだけ解説したいと思います。

地震のメカニズム

地球の表層を構成するプレートはそれぞれが押し合いをしています。そのためプレートの内部やプレート間の境界部で歪みが生じ、それが限界に達した時、プレートの岩盤が破壊されます。プレートが元の位置に戻ろうとするなどして歪みのエネルギーが開放され、その時に発生するのが地震です。

建築物の耐震性

関東大震災以来、日本の耐震基準は、地震のたび改良されてきました。宮城地震後の1981年に改正された建築基準法の新耐震設計法では、「地震時に建物が最終的に崩壊せず人命が守られる」ことを目標としています。新築時の耐震設計と同時に、既存の古い建築物には耐震診断を行い、基準に満たない場合は耐震補強や建て替えを行うことが、技術と制度の両面で進められています。

地震に強い社会

阪神・淡路大震災では、「命を守ること」に加えて「大震災後の都市機能や市民生活の維持」が防災上きわめて重要であることがわかりました。防災には自分自身を自ら守る「自助」と、地域やコミュニティで助け合う「共助」、そして国や自治体が行う「公助」がありますが、地震発生から10時間までは「自助」と「共助」が主体です。個人レベルでの対策のほか、防災教育やコミュニティ作りを通じて「自助」と「共助」の力を高める活動が必要です。

(新星出版社/建築のしくみより)

各報道の映像を見て、多くの方が大変なショックを受けられたと思います。そして今、まだ発見されずにおられる人や、家や家族を失い途方に暮れておられる方の事を考えると、何とか力になりたいと思っている人々が日本中、世界中にたくさんおられると思います。

少しでも早く行方不明者が見つかって欲しい。そう願うばかりです。そして、被災地の皆様が1日でも早く復興できますことを心よりお祈り致しております。

○海溝型地震の発生メカニズム



編集後記

観測史上最悪の地震が世界で一番準備し、訓練されたはずの国を襲いました。その力は今の日本を試しているかのように。多くの犠牲者が出ましたがこの地震がきっかけになって失いかけていた日本人本来の良さが、垣間見れた気がします。犯罪を犯す様子もなく、助け合い、律義、紳士的、正しい行動をとっている国はないと思います。普段日本人は無関心な人が多いとよく言われます。日本人は文化的に感情を抑制する力があり、多くの人が今回で「絆」を取り戻しつつあるように見えました。犠牲者の方々のご冥福を祈り、被災された方々へ一日も早い復興を心から願っております。

表紙の写真は下関市と姉妹都市であるトルコのイスタンブール市より送られてきたチューリップを火の山公園山麓斜面を利用して、整備したトルコチューリップ園から関門橋を望みました。

発行

高藤建設株式会社 高藤 元太郎
北九州市門司区東新町1-1-30
TEL093-381-0461 FAX093-381-0543
<http://takafuji.co.jp>



高藤建設株式会社

